

## 避難経路などを再確認 土砂災害対応防災訓練



▲住民に避難を呼びかける消防団員

6月1日～6月30日は土砂災害防止月間です。

6月1日、田代地区・軽井沢地区を対象に土砂災害対応防災訓練が行われました。

同訓練には、同地区の区民、国・県・町職員、田方消防、消防団など160人が参加しました。

前日深夜から大雨が降り続く中、避難勧告が発令されたという想定で訓練を実施。消防団員や、区内放送により区民を一次避難所の公民館に避難呼びかけをして安否確認をし、その後広域避難所である丹那小学校へ避難をしました。

## 先輩を応援しよう 内田選手の好物が学校給食に

6月12日、西小学校の給食を内田選手の好物を使用した「内田篤人選手応援メニュー」にしました。

応援メニューは、内田選手の母から「白いごはん、鳥の空揚げ、とうもろこしが大好き。」と同校栄養士が意見を聞き企画。また、丈夫な骨や歯を作るため、小魚をよく食べていた。というエピソードから、みそ汁のだしに煮干しを使用し、メニューに取り入れました。

児童は、「内田選手の好物が食べれて嬉しい。」と感想を話しながら給食を味わいました。



▲応援メニューを味わう児童たち



## 内田篤人選手をみんなで応援 サッカーW杯パブリックビューイング



▲コートジボワール戦、先制ゴールに沸く来場者

6月15日、内田篤人選手の母校、西小学校でサッカーワールドカップブラジル大会1次リーグC組対コートジボワール戦のパブリックビューイング（パブリックビューイング実行委員会主催）が行われました。

コートジボワール戦のパブリックビューイングには、町内外から約900人が駆けつけ、同町出身の内田篤人選手と日本チームを熱く応援しました。

また、6月20日ギリシャ戦、6月25日コロンビア戦は函南町文化センターで行われ、たくさんの方が応援に駆け付けました。

## 町をピカピカに ごみゼロ運動統一美化キャンペーン



▲河川へ投棄されたごみの回収も行いました

函南町の特産品、函南スイカの出荷が最盛期を迎え、JA三島函南函南支店出荷場では、出荷作業が本格化しています。

今年は、春先の低温と雲雨天により出荷がやや遅れていますが、その後の寒暖差が適温だったため順調で、糖度も例年に増して甘みが十分。出来栄は上々で甘さは申し分ないとのこと。

函南スイカは、シャリシャリとした食感、糖度11度～13度の甘み、つるがついている、**平**シールが特徴です。

## 甘くほどよいシャリシャリ感 函南スイカの出荷開始



▲スイカの品質と等級の評価基準について話し合う関係者

## ごみの減量・再利用 フリーマーケットを開催



▲多くの家族連れなどでにぎわったフリーマーケット会場

6月1日、函南町役場駐車場でフリーマーケットが行われました。

今回は、出店区画数を80に拡大し、さらに町商工会会員による飲食店11店舗が出店しました。

会場には、掘り出し物を探す人の姿や値段交渉を楽しむ声が聞こえました。

このほか、ごみとして出された自転車を環境衛生課職員が手直したりリサイクル自転車の抽選販売、液肥の無料配布などが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。